

# ポイント マルチポイント間 ワイヤレスシステムのための周波数 ( UNII および MMDS )

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[UNII周波数帯域](#)

[MMDS 周波数帯域 \( 米国だけ \)](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、Unlicensed National Information Infrastructure ( UNII ) 帯域および Microwave Multipoint Distribution System ( MMDS ) 帯域において、ポイントツーマルチポイント ( P2MP ) 製品のヘッドエンド ( uBR7200 ) の設定に使用できる周波数について説明します。この目的は、すべての使用可能な頻度を示すクイック リファレンス シートを提供することです。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- 無線ネットワーク
- コマンドラインの使用法

タスクをこの資料で行うために、ルータの EXEC ( 「有効にされる」 ) アクセスに特権を与えたにちがいありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- uBR7223、uBR7246、uBR7246VXR 製品
- 固定ワイヤレス P2MP をサポートする Cisco IOS® ソフトウェアのバージョン

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## UNII周波数帯域

BAND A

Low - 5730000, 5733000, 5736000, 5739000, 5742000, 5745000, 5748000  
High - 5778000, 5781000, 5784000, 5787000, 5790000, 5793000, 5796000

BAND B

Low - 5754000, 5757000, 5760000, 5763000, 5766000, 5769000, 5772000  
High - 5802000, 5805000, 5808000, 5811000, 5814000, 5817000, 5820000

## MMDS 周波数帯域 ( 米国だけ )

2503000, 2509000, 2515000, 2521000, 2527000, 2533000, 2539000, 2545000,  
2551000, 2557000, 2563000, 2569000, 2575000, 2581000, 2587000, 2593000,  
2599000, 2605000, 2611000, 2617000, 2623000, 2629000, 2635000, 2641000,  
2647000, 2653000, 2659000, 2665000, 2671000, 2677000, 2683000

注: 使用できるどの周波数これが定まるのでどんな帯域計画を duplexor がサポートするか判別して下さい。

## 関連情報

- [無線製品 サポートページ](#)
- [ワイヤレステクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)